



よき日のために
差別のない
明るい社会

人

人権問題
市民啓発紙

第 68 号

2011年(平成23年)11月発行
小田地区人権問題啓発推進委員会
事務局 尼崎市立神崎総合センター
尼崎市神崎町37番3号 ☎6499-3500

人権問題市民啓発紙「人」への想い

小田地区人権問題啓発推進委員会
会長 東田 清治

小田地区人権問題啓発推進委員会は、1983年の創立以来、小田地区管内全域を対象に、関係団体の代表者を委員として、今日まで人権啓発活動に取り組んできたところですが、

また、小田地区の人権問題市民啓発紙であります「人」は、これまで様々な人権に関わるトピック、教材の記事を掲載してきました。人権問題の配殿、神崎地区の歴史、児童虐待防止、インターネット



このたび、「人」の内容を充実させるために、委員の中から、田中正三副会長を代表とした、啓発紙「人」編

ト差別書き込みの実態、人権キャンペーン記事、神崎総合センター事業の紹介など総合センターが中心となって記事を作成してきました。

委員会の委員の手によって、それぞれの団体が取り組んでいる人権に関する記事を描き、より広く小田地区住民の方々に届く記事を発行していきます。



人権教育への取り組み

筑瀬小学校 西井 一雄

筑瀬小学校では、教員や児童を対象にして、次のような取り組みをしています。

まず、職員は、夏期休業中に講師の先生をお呼びして人権教育研修会を開いたり、教育総合センターで行われる研

修会に参加したりしています。児童は、日頃の学校生活での指導に加えて、人権学習(授業)コンクールへ参加しています。また、12月にある人権週間に向けて、1年生から8

年生まで人権啓発のビデオ鑑賞会を実施しています。鑑賞後は、内容について学年や学級で話し合い、感想文を書いて各自で振り返りを行います。

人権啓発街頭キャンペーン

人権週間(12月4日~10日)に、差別のない明るい社会の実現を目指す啓発事業として、人権啓発街頭キャンペーンを実施します。

小田地区人権啓発委員会と神崎総合センター職員等が、乗降客や通行人に、人権啓発チラシ等を配布します。

実施日 平成23年12月5日
午後3時30分~4時30分

場所 JR尼崎駅周辺と
阪神筑瀬駅周辺

小田地区人権問題啓発推進委員会

人権教育啓発推進員研修

研究会小田地区代表 演名 美里

尼崎市連合PTAでは、今年度のスローガンを「学び・笑顔する人間教育」と題し、スタートしました。人権教育では、朝陽の原稿であったように私達の周りには、ありとあらゆる「風評被害」があると思ひ、10月20日に教育総合センターで奈良教育大学名誉教授の中川喜代子氏を迎え、講演していただきました。



中川喜代子氏 講演会風景

私達が毎日、テレビや報道番組で目にするもの、耳にする情報は100%信じられるものとして、自分の中に取り入れていると思ひます。しかし、メディアから流せられている様々な情報は、隠された様々な情報でしかなく、地域性、読者層、記者の興味、商業的な判断などで、様々な要素によって形付けられているものであると言われました。

私達はそのようなメディアから送り出す情報を自ら考え、適切な基準や根拠に基づいて論理的で偏りなく、読み解く判断、識別する能力を高めたいと言われました。

これからは、自分自身の中でどのように情報を取り入れていくかを自ら向上させていきたいと思ひました。